

▲▲

▲▲▲▲▲

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

▲▲WATARIDORI 通信▲▲

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲

Vol.19～2012.2

こんにちは、メルマガ 2 月号をお届けします。試験期間も終わりを告げ、部員の皆は春合宿やサークルオリエンテーションの企画にてんてこ舞いです。今年の冬は寒さが厳しく、東北などはかつてないような豪雪に見舞われているようですね。震災からもうすぐ 1 年が経とうとしていますが、原発事故は今でも落ち着く様子を見せることがなく心配です。大阪もかなり冷え込み、まだまだ日本の春は遠そうです。皆様も体調を崩さぬようお気を付け下さい。

さて、ワンド部では 12 月、1 月とオフシーズンであり、部の行事は少なめです。このメルマガも普段と比べてボリューム不足となることは否めませんが、これを通じて少しでも部の雰囲気を皆様に伝えていきたいと思っています。お楽しみ頂ければ幸いです。

== Index =====

- クロカンレース ～ミスコースが醍醐味でしょ。え？違うの？～
- 冬 PW ～凍りつく行動水～
- 部員紹介 ～55 期次期 Leaders～

=====

■—————■
2011/12/11 クロカンレース
～ミスコースが醍醐味でしょ。え？違うの？～
■—————■

今回のクロカンレースは、積雪で葛城山までとなりました。しかし、山を走るというなかなか経験できない体験ができたので良かったです。OB さんが作って下さったおしるこや、途中で飲んだレモン水は本当においしく、心の支えになりました。来年はミスコースを避けて完走したいと思います。

(文責:堀)

—————

クロカン当日の朝は、とても寒かったのを覚えていますが。しかし、まさか雪で中止となってしまう程とは思いませんでした。体力的にキツかった私は、残念な気持ちの反面、どこかほっとしたのを覚えています。こんな調子では来年完走出来ないかもしれません。後輩に情けない姿を見せるわけにもいかないので、来年はトレーニングを積んで臨みたいと思います。



(56期 理1 河相 圭亮)

昨年もらった景品は “いちごミルク” の 200ml 缶段ボール一箱分。スーパーさんたちの目の前を歩きながら進み、休憩所の食べ物を食べ尽くした。当然の結果としてそれなりの景品が与えられた。同時に上位の景品の豪華なことに驚かされた。スタート時には物欲が頭を支配していた。商品券、登山用品、酒…。45km 彼方の景品に向かって走り出した。二上山ふもとまではよかったが、中継地点までの道を間違えて後れを取った。それ以降、たくさんの人と挨拶した。自分の前を走る者が増えるたび、彼方の景品が減っていく…。その後も “いちごミルク” よりいいものを目指して走り続けた。そして今日、自分の後ろには金時イモが盛られたダンボール、胸にはスケベ代表のたすき、折り紙…。自分の実力が景品によく現れていて、勉強になったと思う。

(55期 基2 瀧澤 洸)

2011/2/11～12 冬 PW

～凍りつく行動水～

テスト期間中、今年も有志を募って冬 PW に行ってきました。今年の比良山は例年以上の積雪が心配されましたが、いざ登ってみると積雪や天気は落ち着いてくれ、とても快適な冬山山行を楽しむことができました。テストで疲れている中、久しぶりの山行できつい部分もありましたが、いつもとは違った比良山を楽しむことができ、とても良い経験ができたと思います。また、今合宿では3名の OB さん方と一緒に山行し、色々なお話を聞くことができました。

(文責：松尾)



昨年参加した先輩から、「一度参加すると必ずもう一度行きたくなるほど面白い」と聞いていたので参加しました。比良山に登るのは4回目でしたが、いつもと違う真っ白な景色に感動しました。武奈ヶ岳に向かうまでの稜線上では横から吹き付ける雪、寒さ、足の疲れによってもう来たくないと思いましたが、いつもの山行では足元に気をつけて慎重にならざるを得ない下りで、ふわふわの雪の上を滑り下りるのを楽しみ、とてもきれいな景色を見ることができたので、つらさを忘れてもう一度来たいと思うようになっていました。

(56期 文1 林 貴哉)

去年参加したメンバーの感想を聞いて今年こそは絶対に冬山に行こうと思い、この冬PWに参加しました。飽きるほど何度も登った比良山が普段と全く違う景色だったので感動し、本当に行って良かったなと感じました。2日目の細川越から武奈ヶ岳に向かう稜線上では前数メートル先も見えないくらい激しい吹雪と寒さで心が折れそうになりましたが…。今回行かなかったメンバーも来年の冬PWにぜひ参加してもらいたいです。



(55期 理2 笹原 貴志)

部員紹介 ～55期次期 Leaders～

Leaders 紹介も今月が最終回です。今月は2人紹介します。

・武内 基彦

55期で一番物静かな先輩といえば、おそらく武内さんです。そんな印象がありますが、発せられるギャグはどれも面白いです。個別指導のバイトで担当されている生徒さんが多く、月末になると、その評価や方針を書くのに追われているのを目にします。お忙しい武内さんは、様々なことに詳しくやさしい先輩です。





・矢達 高大

55 期の中で生粋のギャングラーは矢達さんでしょう。普段は吹田にいらっしゃるので部室で見かけることは少ないですが、飲み会の後などによく麻雀をしています。そして負けているのをあまり見たことがありません。相当強いのではないのでしょうか。そんな矢達さんは、後輩からの信頼も厚く、頼りになる先輩です。

WATARIDORI 通信 2 月号はお楽しみいただけただけでしょうか。

さて、前回ではクロカンレースの思い出についてお聞きしました。ご回答ありがとうございました。流石は伝統があるだけあって、クロカンの名（迷？）エピソードはたくさんあるんですね！笑わせて頂きました。やはりクロカンには体力も必要ですが、運と知力も必要ということですね。

今の先輩方は聞けばなんでも親切に教えてくれますが、昔のクロカンは先輩方も必死で、ライバル達を蹴落とすためにウソの情報を流したりするなど殺伐とした大会であったと聞きます。今回は葛城山で中止となってしまったため、我々一回生は皆が恐れる「念仏坂」というものにまだ出会ったことがありません。数々の伝説を残すクロカンレースの全貌を今年こそは見てみたいものです（いや見たくないかもしれませんが）。次回のアンケートは、「現役時代にやってしまった失敗は？」です。ご協力お願いします。

冒頭にも書きましたが、今我が部活では新入生獲得に向けてサークルオリエンテーションや春 PW などの準備に追われています。遂に気楽である一回生を脱出し、二回生となるわけですが、不安がないわけではありません。先輩方のような頼もしい上回生になることができるよう、精進していきたいです。4 月号では春合宿の様子などをお伝えする予定です。ご期待下さい。

アンケートページ：<http://www.ouvw.org/enquete/enqform1202.html>

ギャラリーページ：<http://www.ouvw.org/mailmagazine/gallery1202.html>

メルマガ委員：松尾 勇汰、堀 裕貴